

シルバー人材センター



シンボルマーク

ニュース

ゆんたく

〈発行所〉

公益社団法人 沖縄市シルバー人材センター
〒904-2155 沖縄市美原3丁目1番1号
電話番号 (098) 929-1361
<http://www.okinawasisi.com>
7月末現在の会員数539人
(男性334人・女性205人)

「安全・適正就業強化月間」出発式 グループリーダーらが無事故を宣誓



7月は「安全・適正就業強化月間」。初日の1日、コロナ禍と梅雨が長引く中、シルバーワークプラザ駐車場で公園草刈グループの正副リーダーや役職員など12人が参加して出発式を行った。コロナ緊急事態宣言が延長されている最中とあって、参加人数を大幅に制限、昨年度に続き規模縮小の出発式となった。上原秀雄理事長は「緊急事態宣言が延長されるという大変な状況になっている。このような中、リーダーの皆さんが率先してコロナ禍対策と熱中症対策を講じ、安心して就業できる環境づくりをお願いしたい。無事故を目指し、会員の皆さんの健康を願いつつも安全第一を心掛けてほしい」と挨拶。続いて、上江洲勝安全推進員は「今年度はすでに1件の傷害事故が発生。特に刈払機の事故が多発傾向にある。リーダーの安全意識は高いが、会員個々まで意識が浸透しているとは言い難い。そうした課題にも取り組みながら事故ゼロを目指してほしい」と会員の協力をお願いした。最後に、就業会員を代表して高吉満弘さんが「事故を起こさない ケガをしない ケガをさせない」と宣誓、ガンバロー三唱で安全就業と無事故を誓い合った。

シルバー人材センターの理念



自主 自分のものとして考え



共働 一緒になって働き



自立 自分たちの力で育てる



共助 お互いに助け合う

令和3年度安全・適正就業推進会議を開催 緊急事態宣言再延長で安全大会を変更



コロナ緊急事態宣言が再延長されたため、県シルバー連合主催の安全・適正就業推進大会が担当者会議に切り替わるなど各地で大会開催の変更・縮小が相次ぎ、当シルバーセンターも従来の大会を会議に変更、7月16日「令和3年度シルバー人材センター安全・適正就業推進会議」をシルバーワークプラザ2階大会議室で開催した。同会議には役職員や草刈グループリーダーなど11人が参加、仲宗根正史事務局長の進行で始まり、上原秀雄理事長に代わって浜比嘉宗明副理事長が挨拶、小橋川啓安全・適正就業委員長が事故状況を報告。安全就業、コロナ感染症予防及び熱中症対策について会員への周知協力をお願いした。今回の会議は、参加人数の制限をはじめ会議内容も簡素化し、30分で終了するという異例のものとなった。(2, 3面に関連)

＜ 熱中症予防対策10ヶ条 ＞

1. 快適感、温冷間などの主観的感覚に頼らない
2. 環境指導として、気温・湿度・風速・日射（放射）に留意する
3. 生理指標として、体温・心拍数・体重を随時測定し、身体の暑熱負担の状態を客観的にモニターする
4. 暑い時は作業量を減らし、休憩を十分にとる
5. 定期的に水分・塩分を補給する。のどの渇きに頼らない
6. 急な暑さに気をつけて、徐々に暑さに慣れる
7. 作業服は通気性、透湿性のあるものを選ぶ
8. 体調不良の時や糖尿病、高血圧などで治療服薬中の人ではできるだけ作業を控える。やむを得ず行う場合は一人作業を避ける
9. 睡眠不足、朝食抜き、大量飲酒など不摂生な生活をやめ、普段から運動して肥満を防止する
10. 熱中症の警戒信号（初期兆候）を知っておく

＜ 安全就業の心得10ヶ条 ＞

1. 健康管理に留意し、常に健康な状態で就業する
2. 仕事の前日は十分に睡眠をとる
3. 服装・履物・保護具は仕事に適したものを着用する
4. 仕事を始める前には準備運動をする
5. 保護具や器具類は使用する前に必ず点検する
6. 加齢による身体の機能低下を十分に認識し、無理をしないようにする
7. 仕事をするときには急いだり、あわてたりせず、安全第一を心がける
8. 就業の場は常に整理整頓を心がける
9. 共同で仕事をするときには合図・連絡を正確に行う
10. 行き帰りも仕事のうち、交通事故に遭わないようにしよう

熱中症 予防対策のポイント



作業時間の短縮

- 作業の休止時間・休憩時間の確保、連続作業時間の短縮、身体作業強度が高い作業の回避

水分・塩分の摂取

- 作業前の健康確認と水分、塩分の補給



通気性の良い服装の着用

- 通気性のいい作業着や、クールベストなどの着用を検討



マスク着用について

- 気温・湿度が高い中でのマスク着用は放熱を始めるので要注意。
- 屋外で人と十分な距離（2m以上）を確保できる場合は、適宜マスクを外して涼しいところで休憩をとる。但し、防じんマスク等、労働衛生保護具の着用については、熱中症に注意しながら作業環境に応じて適切に着用する。



日常の健康管理

- 健康診断結果などによる作業者の健康状態の把握（糖尿病、高血圧、心疾患などの疾患は、熱中症の発症に影響を与えるおそれがあります）



熱中症についての教育

- 熱中症の症状、熱中症の予防方法、緊急時の救急処置、熱中症の事例についてあらかじめ教育を行う。

！ 熱中症は こえかけで防ごう

こ こまめな水分補給	え 炎天下を避けよう	か 風通しを良く	け 健康管理!
屋外労働や室内外など、たくさん汗をかくときは水分と塩分を補給しましょう!	炎天下での長時間の作業、海水浴は避けましょう。日傘や帽子で日光を避けましょう!	室内でも油断は禁物! 適度な風通しや冷却設備で熱を逃す工夫をしましょう!	服装・栄養はしっかりと! 日頃から適度な運動で暑さに負けない体を作りましょう!

新入会員紹介

7月20日付で3人（女性2人・男性1人）が新会員として入会しました。地区会員の皆さんよろしく。

- 仲宗根 正展 (美里中校地区)
- 平野 幸子 (美里中校地区)
- 金城 恵子 (美東・東中校地区)

無事故記録

令和3年5月18日〜
〃〃 7月20日現在

63日

先月に続き第4回理事会も緊急事態宣言でみなし決議

左記の議案が、緊急事態宣言を受けて「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条」及び「定款第38条」の規定により、理事全員が書面をもって同意の意思表示をしたため、理事会決議を省略し、みなし決議となった。

議案第1号「正会員の入会」について、3人（女性2人・男性1人）を承認。

その結果7月20日現在の会員数は539人（女性205人・男性334人）となった。

コロナ禍で就業実人員・就業延人員・配分金・契約金額落込む | 6月実績 |

令和3年6月の主な実績では、会員数536人で2人の減（▲0・3%）、就業実人員299人で20人の減（▲6%）、就業延人員3020人で835人の減（▲27%）、配分金約1570万円で約420万円の減（▲26%）、契約金額約1987万円で約508万円の減（▲25%）となった。

（対前年比同月比）

〽 全国統一スローガン 〽
いつまでも働く喜び 無事故から

60歳! 人生これから!

シルバー人材センターへ 入会しませんか?

1週間に**2・3日**
働けたらいいのに!

毎日なにも
することがない!
退屈だ!

でも、
きつい仕事は
ムリ!

「この歳で働ける!仲間が出来た!
孫に小遣いをあげられた!」年をとると実感も時間もユツタリと訪れます。60歳以上、沖縄市在住で健康で働く意欲のある方ならどなたでも歓迎。安全で簡単、軽易な仕事があります。ぜひお話を聞きに来てください。



現在のシルバーでの主な仕事

- 軽い労働
- 家内外の掃除、片付け
- 草刈り、植木の手入れ
- 大工仕事、他
- 一般
- 電話受け付け
- パソコン、スマホ講師
- 宛名、賞状書き
- 訪問介護
- その他いろいろ



◇ 8月の予定 ◇

- ・ 10日(火) 午前10時
新会員入会説明会
- ・ 24日(火) 午前10時
第5回理事会
- ・ 26日(木) 午前9時
刈払機取扱い作業者
に対する安全衛生教育

編集後記

酷暑続きの夏本番。安全就業を推進するうえで熱中症の予防対策は欠かせない。それに関連して「暑熱順化」というのをよく耳にする。体を暑さに慣らしていくという文字通りの意味あいだ、その効果に関心が集まる。暑熱順化すると低い体温でも汗をかきやすくなり、汗の量や皮膚の血流が増えて熱が逃げ、体温の上昇を防ぐ。結果、体温調節がうまくできるようになって、熱中症になりにくい体になるという。体を暑さに慣れさせるためには、日常生活の中でウォーキング・筋トレ・ストレッチなど無理のない運動と入浴で汗をかくようにするとよいらしい。

編集

東條 正躬
大城 博